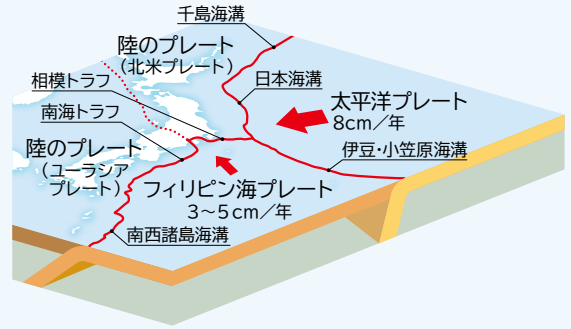


南海トラフ地震による大津波の危険性

藤沢市は『南海トラフ地震防災対策推進地域※1』及び『南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域※2』として指定されています。

南海トラフ地震は概ね100~150年間隔で繰り返し発生しており、地震の周期を考えると、今後30年間で「南海トラフ地震」が起こる可能性は70%~80%にのぼります。(平成31年1月1日現在)



※1南海トラフ地震防災対策推進地域

- ・被害想定などの結果、震度6弱以上
- ・大津波(3m以上)で海岸堤防が低い など

※2南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域

- ・地震による津波で30分以内に30cm以上の浸水が生じる
- ・同一県内の津波避難対策の一体性が必要な地域 など

藤沢市における最大津波高は7mで、津波高1mの津波が到達するのは地震発生後約32分と想定されています。地震は一度では終わらず、時間差で起きる場合もあり、後発地震に備えた行動をとる必要があります。



南海トラフ地震臨時情報

気象庁では、想定震源区域やその周辺で「M6.8程度以上の地震」もしくは「通常とは異なるゆっくりすべり(住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動)」などの異常を観測した場合、『南海トラフ地震臨時情報(調査中)』を発表します。調査が終了すると、以下のように発表が行われ、避難が必要かどうかを判断することになります。

南海トラフ地震臨時情報	私たちの対応	市の主な対応
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> ●津波からの避難に時間を要する要配慮者などは、引き続き1週間避難を継続。※行政からの呼びかけ等に従って行動を! ●大津波警報等が発表されたらただちに避難! 	大津波警報等から津波注意報に切り替わった(当該地域の「避難指示」の解除)後も、後発地震に備え避難対策を講じます。
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ●地震への備えを再確認! ●避難先の確認や家族との連絡手段等を共有しましょう。 	市民に対する今後の備えに関する呼びかけます。(①非常用携行品等の確認、②避難先の確認、③家族との安否確認手段の取り決め、④家具の転倒防止の確認等)
調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ●通常の生活に戻ります。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意しましょう。 	継続して情報収集を実施します。

